

藤浪中学校だより

令和2年7月9日
津島市立藤浪中学校

「あいさつ」 って？

生徒会の皆さんが7月10日（金）のあいさつ運動に向けて準備をしてくれています。本当にうれしく思います。ありがとうございます。

では、「あいさつ」ってなぜ必要なのでしょう。

「情けは人のためならず」という言葉があります。「人に情けをかけるのは、その人のためになるばかりでなく、やがてはめぐりめぐって自分に返ってくる。人には親切にせよ。」ということわざです。「あいさつは人のためならず」ということわざはありませんが、間違いなく正しいと思います。「あいさつをすることは相手のためばかりでなく、やがてはめぐりめぐって自分に返って」きます。



あいさつの効能

1 人に親切にしてもらえる

大きな声であいさつをしてくれる子に親切にしたいと思うのは当たり前です。特に、教師なんて、もともと生徒の役に立ちたいと思っているんですから、自分に大きな声であいさつしてくれる子を助けたいと思うのはあたりまえです。

2 学校が明るくなる

大きなあいさつが教室や学校にもあふれば学校は明るくなります。明るくなれば楽しくなる。暗い学校より明るい学校がいいですね。

3 新しい友人ができる

勇気を出してこちらからあいさつすれば友人は増えます。さらに、けんかした友人に朝、「おはよう」と元気よく声をかければ相手も「あ、怒ってないんだ、こちらも声をかけなくちゃ。」と安心するでしょう。仲直りできる可能性も高くなります。

でも、実は、あいさつするには**勇気**がいるのです。ここが難しいところです。

藤浪中学校は「あいさつ日本一」を掲げています。今後、生徒会の皆さんとともに、あいさつのあふれる学校を作ってくれることを願っています。



生徒会の皆さん、ありがとうございます。